

# 1人薬剤師の個人薬局が 136医療機関の処方箋を応需

Active  
no.13

患者を含め医療・介護専門職など170人とLINEで情報交換、  
服薬フォローアップにもSNSを活用

はなのゆ薬局は、日帰り温泉施設に併設されています。全国的に見ても温泉施設内にある薬局は、極めて稀な存在です。「温泉ソムリエ」の資格を持つ中山茜氏が、2018年12月に開設しました。薬剤師は中山氏1人だけです。いわゆる「1人薬剤師」の薬局ですが、何と136施設の医療機関の処方箋を応需しています。その訳は患者さんだけでなく医療・介護の専門職からの紹介です。LINEなど複数のSNSを通して、多くの患者さん・専門職と活発に情報を交換しあっています。LINEだけに実に160人の患者さん・専門職と繋がり、情報の収集・発信を日々、行っています。



AKANE株式会社 代表取締役  
はなのゆ薬局（鹿児島県鹿児島市）  
中山 茜氏

## Profile

福山大学大学院 医療薬学専攻卒  
大学院卒業後、約550床の大規模病院に就職。  
その後調剤薬局、ドラッグストア併設調剤薬局に勤務し、2018年12月に日本初、温泉施設の建物内に薬局を設立。内閣府食品安全委員会 食品安全モニター、温泉ソムリエ、日本褒める達人協会ほめる達人、整理収納アドバイザー等の資格を生かし、多職種連携を図りながら地域医療に携わっている。

## 社会福祉法人の複数の事業所で健康教室の講師に

2018年12月に、温泉施設に併設された薬局を開設されました。どのような経緯からでしょうか。

**中山** これまで病院や薬局、ドラッグストアなどに勤務してきましたが、ずっと薬局経営をしたいという気持ちがありました。鹿児島県は温泉大国で、至るところに温泉が出ています。しかも源泉は塩化物、硫黄などさまざま、薬局を開設するときには郷土の宝である温泉を、是非とも利用したいと考えてきました。そのため「温泉ソムリエ」の資格を取り、日帰り温泉施設に併設されたスペースに「はなのゆ薬局」を開設しました。

薬局の目の前には内科・リハビリテーション科の診

療所があるのですが、こちらに通院される患者さんの処方箋はまだ、そう多くはありません。多くは面の処方箋で、患者さんの紹介で新しい患者さんが次々に来局されています。一つのきっかけは、障がいを持った方々などを支援する、ある社会福祉法人がありまして、私が、その社会福祉法人の事業所で開かれる健康教室の講師に立っていることです。県内に事務所を多数お持ちの社会福祉法人ですので、集中してしまう週には4回講師に行くこともあります。そうしたお付き合いを積み重ねることにより、健康教室の参加者が処方箋を持ってきてくださったり、その患者さんに関わる医療・介護の専門職を通じて、面の処方箋が広がってきたのです。